



今、声を上げるとき！ 団結してガンバロー！



中央委員会であいさつする
広島自治労連・平松執行委員長

●●広島自治労連・中央委員会開催！●●

広島自治労連は、6月22日（木）にロードビルで第67回中央委員会をオンライン併用で開催しました。中央委員は会場参加6名、オンライン25名の合計31名と傍聴1名が出席し成立しました。

私たちが取り組む

今後の課題とは

浜崎書記長が当面の重点課題と取り組みとして「職場・地域に立脚した憲法と平和を守る取り組み」「いのちとくらしを守る社会保障制度の拡充」「安心して働き続けられる賃金・労働条件の実現」「住民本位の自治体・公務員共働きづくり」「組織強化・拡大の取り組み」を提案し、賛成多数で承認されました。

さまざまな課題の

解決に向けて...

討論では広島市留守家庭子ども会労組から欠員が解消されないまま始まった有料化に伴う業務増の問題、広島市児童館労組からは欠員解消のために民間の派遣を提案されている問題、保護者や地域への説明のないままの給食センター化、当局による外郭団体の軽視、同一労働同一賃金を求めた要求・交渉の成果、組織拡大にむけての取り組みや積極的な活動の報告など、7名の発言がありました。

自治労連 第45回定期大会

■8月27日（日）～29日（火）

■山口県宇部市内

■内容

1年間の経過報告、運動方針案、予算案、決算

■8/26（土）には補助組織定期大会（女性、青年、現業評、非正規公共評、公営企業）、職種別部会総会を開催します。

**決意新たに
さあ、ガンバロー！**
声を上げなければ何も変わらない、6月末までの増勢にもうひと踏ん張り頑張りますように、と決意を新たに、団結ガンバローで終了しました。



写真上：シンポジウムのパネラーのみなさん
写真下：参加者メッセージ

多様な立場を認めあい、団結しよう

「多様な働き方」の 討論

1日目のメインは「多様な働き方」の実態とみなで考えましようとして、非正規公務員・非正規職・外国人の移住労働者・フリーランス、それぞれの立場を代表する方が参加し、「様々な働き方」の実態や課題について討論が行われました。

仲間との対話、団結 して要求実現を

2日目は15の分科

会・講座が開催され、「多様な働き方」の実態とみなで考えましようとして、非正規職の現場、無期転換前の雇止め、パワハラ等が行われている現状が挙げられ、打開するためには仲間がより対話し、団結して要求を実現していくことの重要性が語られるなど、参加者間で充実した討論が行われました。今回の集会の成功を契機にパート・非正規ではたらく仲間を支える運動をより盛り上げていきます。

新鮮力③ 今年のNEW FACEを紹介

20年ぶりに子どもに関わる

広島市児童館労組/児童館指導員

子どもに関わる仕事に、20年ぶりに再び就きたいと思い、転職しました。

まずは1年を目標に、目の前の課題を着実にこなしていきたい。

明るい性格で、人と話すのが好きなので、気軽に声をかけてください。

趣味はソフトボール、映画鑑賞、読書、音楽等です。

多くの学びで自分の成長に

広島市社会福祉事業団労組/支援員

学生時代に福祉を学び、様々な人と関わった経験から、生活介護を通して「その人なりの自立」を支援する仕事を選びました。

自己研鑽のためにも多くの研修に参加し、多くの学びを経て、自分の成長につなげたい。

いつでも笑顔を大切に、職場がもっと笑顔であふれるようがんばります。



4年ぶり！600人を超える親子、職員が参加を

保育まつりは、「あそんで たべて ともだちづくり」を合言葉に、遊びの文化を継承していく、参加者みんなで作っていくまつりです。

新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりの開催でしたが、600人を超える親子や保育園職員が参加しました。

オープニングには絵本の「ぐりとぐら」に扮した保育士が登場し、各コーナーの遊びの紹介をすると、子どもたちの目がキラキラ輝きました。

あそんで たべて ともだちづくり

6月18日、第40回保育まつりが尾長小学校で開催されました。

感染拡大防止のため、以前行っていた調理員による手づくりドーナツや保護者による焼きそば販売などの飲食コーナーはありませんでしたが、スライム、牛乳パック人形、シャボン玉、輪投げ、ストラックアウトなどのコーナーを保育士や学生ボランティアが担当しました。

子どもたちの目がキラキラ輝きました。

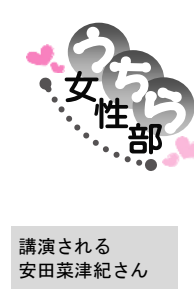
子どもたちの目がキラキラ輝きました。

● 単組の定期大会・定期総会を開催しました ●

6月16日（金）第27回定期大会を県本部会議室でオンライン開催で行い、53名が参加しました。

今回は約3年続いたコロナ禍が5類移行により収束した直後の大会でもあり、指定管理制度や定年延長、こども療育センターの移転問題等今までの運動課題に加えて、コロナ禍の中でずっと中止となっていた親睦活動についても検討が行われました。

今年大会はコロナ禍を超え市事業団組合活動の新たなスタートの流れを感じることができました。



私たちは、地域や国際社会の中でどんな役割を果たせるか

6月11日（日）、2023広島県母親大会が開催され、午前中は、「南区で学ぼう平和と憲法」をテーマに4つのプログラムがありました。

被服支廠フィールドワーク「戦争の惨禍を忘れないことの大切さ」

午後からの全体会は、広島市南区民文化センターで開催されました。フォトジャーナリストの安田菜津紀さんが「共に生きるとは何か」難民の声、家族の歴史から考えた多様な学びました。

広島県母親大会は、地域や国際社会の中で私たち一人一人がどのような役割を果たしていくのかを考える貴重な機会になりました。



6月23日（金）夕方、第38回「網の目平和行進」が行われ、広島市内4か所から平和公園噴水前を目指して行進しました。

集結集会では、広島市原水協の金子秀典筆頭代表理事は、「核戦争も核兵器もない平和な地球を、の声を大きく広げよう」とあいさつしました。

市社会福祉事業団労組

広島市児童館指導員労組

留守家庭子ども会労組